

【重要】2020年春季・秋季合同大会は、オンライン（Zoom）開催となります。

新型コロナの感染再拡大の中、9月12日(土)-13日(日)に京都大学にて開催が予定されていた春季・秋季合同大会は、オンライン（Zoom）での開催となることに決まりました。通常の様式での開催に向けて可能性の検討を重ねてきましたが、さまざまな障害とリスクがあり、このような決定に至った次第です。会員の皆様には、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

大会への参加方法、およびZoom使用の際のマニュアルや注意事項などについては、9月初めまでにあらためてご連絡いたします。また、当日のアクセスのためのZoomミーティングのURL等は、会員外への漏洩を防ぐため、大会の数日前にメール（メール未登録者には郵便）でお伝えします。連絡を確実にを行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、事務局（secretariat@sfjp-web.net）までご連絡下さい。

異例の開催形態となりますので、ご心配もあろうかと思えます。ご質問やご相談には、可能な限り対応いたしますので、事務局（secretariat@sfjp-web.net）までご連絡下さい。

【プログラム（HPにも掲載します）】

日時 2020年9月12日(土)・13日(日)

場所 オンライン会議(ZOOM)

タイムスケジュール

[9月12日]

- ・一般研究発表 9時20分-12時30分（詳細は次項）
- ・総会 13時30分-14時15分
- ・シンポジウムⅠ（春季） 14時30分-18時

テーマ：「第二帝政と哲学者たち」

司会：村松正隆（北海道大学）

提題者：高山裕二（明治大学） 「ボナパルティズム再考」

宮代康丈（慶應義塾大学） 「共和主義哲学とカエサル主義——第二帝政下のジュール・バルニ」

伊多波宗周（京都外国語大学） 「第二帝政期におけるプルーダンの思想展開」

特定質問者：赤羽 悠（早稲田大学）

[9月13日]

- ・一般研究発表 10時10分-12時30分（詳細は次項）
- ・シンポジウムⅡ（秋季） 13時30分-17時

テーマ：「リズムの哲学：ソヴァネ、ベルクソン、マルティネ」

司会：平井靖史（福岡大学）

提題者：山下尚一（駿河台大学） 「かたちと流れのあいだ——ソヴァエネにおけるリズムのあらわれの問題（仮）」

藤田尚志（九州産業大学） 「バルクソンとリズムの問題（仮）」

小倉拓也（秋田大学） 「眩暈から開放へ——アンリ・マルティネのリズムの哲学をめぐって」

一般研究発表プログラム

*発表時間帯

- ① 9時20分—10時
- ② 10時10分—10時50分
- ③ 11時00分—11時40分
- ④ 11時50分—12時30分

[9月12日] 9時20分—12時30分

第一部会（司会：津崎良典）

- ①筒井 一穂 デカルト「永遠真理創造説」と学知の基礎
- ②有賀 雄大 確実性としての真理—ハイデガーのデカルト解釈をめぐって—
- ③竹中 利彦 マルブランシュにおける物質による精神の比喩的説明について—コンディヤックによる批判を通して—
- ④今野 諒子 初期ライプニッツの作用について—実体的結合の概念を手がかりに—

第二部会（司会：西山雄二）

- ①三ツ谷 直子 プルーストにおけるモード再考：フォルチュニの記号性
- ②岡本 かおり ジャン＝マリー・シェフェールのフィクション論における「模倣」について
- ③内藤 慧 ドゥルーズ『感覚の論理学』における「器官なき身体」の定義と、「力」
- ④小林 徹 構造と存在の間に：フィリップ・デスコラの身体論

第三部会（司会：河野哲也）

- ②長戸 光 『創造的進化』における「生命的な機械」の問題—クロード・ベルナールの未完の生命の生成論—
- ③長谷川 暁人 世界はどうやって構成されているのか—ジェイムズとバルクソンの唯心論的世界観の比較—
- ④藤井 千佳世 カンギレムの医学哲学における個体主義とその倫理的射程

第四部会（司会：中真生）

- ②福田 肇 もうひとつの〈欲望の倫理〉—ジャン・ナベールにおけるカント倫理学の再読解の試み—
- ③吉野 斉志 レヴィナス『全体性と無限』における独我論的自我とその受肉
- ④森脇 透青 初期デリダにおける「まなざし」と「声」

[9月13日] 10時10分—12時30分

第一部会（司会：長坂真澄）

- ③榮福 真穂 デカルトの観念説における二義性の意義—観念の形相的実在性・表象的実在性をめぐって—
- ④濱田 明日郎 バルクソン『物質と記憶』第四章において物質の等質性はどのように可能か

第二部会（司会：服部敬弘）

- ②山野 弘樹 歴史とフィクションはどこで交叉するのか—リクール『時間と物語』における「歴史記述」論の批判的再読解—
- ③中間 統彦 「宗教的なもの」を巡るデリダ思惟におけるカント
- ④市川 博規 ジャン＝リュック・ナンシーにおける身体論と言語について

第三部会 (司会:加國尚志)

- ②佐原 浩一郎 ジル・ドゥルーズによるライブニッツにおける「呪われたもの」の解釈について
- ③濱中 健太 ジル・ドゥルーズにおけるシーニュと芸術的創造—ブルースト論から『差異と反復』へ—
- ④尾谷 奎輔 『分裂分析的地図作成法』における「速度」について

第四部会 (司会:米虫正巳)

- ②香川 祐葵 リトルネロと主観性
- ③南 匠真 『意味の論理学』から『アンチ・オイディプス』へ—「器官なき身体」の観点から
- ④戸澤 幸作 ジル・ドゥルーズ『差異と反復』と『シネマ』における「崇高モデル」

★ 会員の皆様へのお知らせとお願い

1. 過去の機関紙掲載論文のHP公開について

2019年の秋季大会にて、『フランス哲学・思想研究』の過去の全号について、PDFを学会HPで順次公開していくという方針が決まりました。つきましては、ご自身の過去の掲載論文について、公開を希望されない方は、号数と論文名を明記の上、2020年12月31日までに、その旨学会事務局 (secretariat@sfjp-web.net) までお知らせ下さいますようお願いいたします。

2. 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入していただきたく、お願い申し上げます。

とりわけ、今回の学術大会はオンライン開催となりますので、会場で直接会費を納入していただくことができません。つきましては、9月に送付予定の機関誌第25号に振込用紙を同封いたしますので、必ずその際にお振込み下さいますようご協力をお願い申し上げます。もちろん、以下に記しております学会振替口座には、常時お振込みいただけます。以上、ご理解とご協力の程、改めてよろしくお願い致します。

(なお、3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。)

3. メールアドレスご登録のお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている、メール送付に切り替えていただける方は、下記事務局までご一報下さい。今回のようにオンライン大会になりますと、どうしてもメールでの一斉連絡が必要になります。ぜひご登録下さいますようお願いいたします。

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会